

# 豪雨災害 日本共産党の立党の精神發揮し 被災者支援を最優先に

中国ブロック交流ニュース

発行／日本共産党国会議員団中国ブロック事務所  
〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 1-31 2018/7/17 NO. 6  
TEL086-273-7747 FAX086-272-7108 Email [jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp](mailto:jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp)

## 国会調査団 16日は高梁・総社で被災地調査 高梁・総社の市長とも懇談し要望聞く



日本共産党の国会調査団は、7月15日の真備調査に続き、16日には高梁市と総社市の被災地を訪れ、被災現場の視察をし被災者の声を聞きました。

調査には仁比聡平参議院議員、山添拓参議院議員、大平喜信前衆議院議員、住寄聡美参議院岡山選挙区予定候補、そしてそれぞれの地元の市議が参加しました。(写真左は高梁市広瀬の被災地で、写真右は総社市長との懇談)

総社市長との懇談では、市長が「何としても300世帯の住む場所を確保しなければならない」と述べ、仁比議員らは国への働きかけを約束しました。

## 支部・議員 被災住民の声を聞きながら訪問 赤旗も増える

各地で、支部・議員らの被災者支援の大奮闘が繰り広げられています。岡山県委員会のニュースから倉敷市赤崎支部の活動を紹介します。

「15日の日曜日、支部では3人一組になって被害の多い地域を訪問、被害にあった人にはお見舞いの言葉をかけて要望を聞きました。

また幸いに被害に遇わなかった人には、小池書記局長の演説を取りやめて救援活動に全力を挙げていること、さらに共産党の力がもっと強ければ住民の苦難にもっと応えられることなどを訪問先で話しあいました。

こうした活動の中で、二人の方が「赤旗」日刊紙の購読を約束してくれました。



## 岡山県議団 被災者支援で県当局への申し入れ

7月17日、岡山県議団は倉敷市真備町をはじめ全域の被災地の声を集めて、岡山県当局に「仮設住宅の建設」などの申し入れをしました。(要請書はブロックのHPでも紹介しています)